

一般社団法人 宮崎青年会議所 2023年度 発信グループ基本方針	
常任理事 遠山貴一	
設置背景	AI や IOT が急速に発展する現代社会において、それを生業としてスタートアップする若手経営者が急速に増えています。「JC もある時代」に私達は地域の発展を作る団体である事を、若手経営者や宮崎市民へ広く認知させるなければいけません。 宮崎市だけで宮崎青年会議所の会員対象年齢人口は79,399名おり、事業所数も18,092件ありますが、近年の会員拡大はコロナ元年を除き約30名前後の入会が平均です。「宮崎青年会議所が行っている事」「若手経営者へのリクルート」の2つの柱が広報戦略として必要だと考えています。私達が宮崎の街に対し「面白い事をやっている団体」である事を幅広く伝え発信力を高める必要があります。
設置目的	宮崎青年会議所は若者がまちづくりを行う団体です。宮崎市民からは何をしている団体が認識されていないように感じます。2023年はターゲットを「若手経営者」と「宮崎市民」に設定し、グループの垣根を超えた戦略的な情報発信体制を構築すると共に、マスアプローチの機会や、インナーブランディングの機会を構築することで、宮崎青年会議所が構築する運動の社会的価値を的確なターゲットに届け、宮崎青年会議所が明確に「何をしている団体か」を広く認識させる事を目的とします。
運動計画 (KPIも記載)	1 SNS、HPの管理運用 . 2 広報誌の発行 . 3 JCI榎原との交流事業 . 4 7月のまつりえれこっちゃん2023の構築 . 5 8月例会メインアワー「中間懇親会」の構築 . 6 宮崎神宮大祭への参画 . 7 12月例会メインアワー「卒業式」の構築 .
運動手法	1 既存のSNSやHPを更新し、宮崎青年会議所の歴史のあるイベントや活動を宮崎市民へ広報します。 . 2 年4回、シニアに向けた広報誌を発行します . 3 榎原春の神武祭へ多くのメンバーの参加を推進します . 4 今までのコンテンツを踏襲し、県外から多くの人を呼べるようなコンテンツを企画し、宮崎の伝統的な祭りにしていける「えれこっちゃん宮崎」を構築します。 . 5 8月例会メインアワー 中間懇親会を開催し、先輩方との交流し、絆を深めながら、2023年度上半期の活動を報告します。 . 6 宮崎神宮大祭に参画し、宮崎青年会議の存在感と存在意義を広く他団体に認知します。 . 7 卒業生と最後の現役最後の場になるので、涙あり、笑いあり、思い出ありの卒業式を構築します。
パートナー	宮崎市 まつりえれこっちゃんみやざき振興会 ニシタチまちづくり協同組合 宮崎市社交飲食業組合 西橋通振興会 中央通振興会 一番街商店街振興組合 宮崎市教育委員会宮崎JCシニアクラブ 公益社団法人 日本青年会議所 民間IT業者
NEXT5	1-4 伝統の継承(宮崎の文化) 2-1 付加価値創造の推進 1-8 JCブランドの確立と認知度向上 2-1 付加価値創造の推進 2-2 地域の魅力の発掘と発信 2-3 イノベーションの促進 2-6 IT人材の育成 2-8 企業・学校・団体との連携